

II カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

修士課程（看護学専攻）

旭川医科大学医学系研究科看護学専攻（修士課程）では、「修士論文コース」と「高度実践コース」の2つのコースを設けています。いずれも、専門領域の教授による指導を基本とします。

修士論文コースでは、1年次から看護学に関する基本的な知識と健康科学に関する専門的な知識とを土台とし、研究能力を養う共通科目を設けています。その上に、生体防御学、精神保健看護学、公衆衛生看護学、健康教育開発学、小児・家族看護学、母性看護学・助産学、高齢者看護学、成人看護学、基礎看護学、在宅看護学等の専門各分野において高度な知識を修得する授業科目を設けています。このような、共通科目と専門領域において深めた高度な知識に基づき、看護学の発展に貢献する研究を遂行できる研究能力を育成します。

高度実践コースでは、がん看護専門看護師及び老人看護専門看護師に必須の高度な専門知識と実践能力を修得できるよう、授業科目を設けています。1年次から看護学に関する基本的な知識と健康科学に関する専門的な知識とを土台とし、高度な実践課題を紐解くために、研究能力を養う共通科目を受講します。その上に、専門領域（がん看護学・高齢者看護学）の高度な知識と高度な実践を支える援助技術を修得する科目を設けています。このような、共通科目と専門領域において深めた高度な知識と技術によって、看護学の発展と患者とその家族のQOL(生活の質)の視点に立った水準の高い看護を提供できる能力の開発を目指します。

以上のように、学生の主体的な学びを支えるため、可能な限り効率的な環境で促進できるように開講し、努めています。

履修指導・研究指導の概要

